

# 洞爺湖町 職員採用案内



仕事と自然と、

私にちょうどいい。



# 働く前に 暮らし の話を。

洞爺湖町役場で働くということは、  
この町で暮らすことを選ぶということでもあります。

「洞爺湖町って住みやすい？」  
「どんな特徴があるの？」と  
知らないことだらけで不安な方もいると思います。

この町で、仕事も暮らしも楽しんでほしいから。  
まずは日々の暮らしの様子をお伝えします。



## lifestyle 1

### 生活に必要なものは ちゃんとそろっています。

スーパーやコンビニ、銀行、病院、  
ドラッグストア。  
都会ほど便利ではありませんが、暮  
らしに必要なものはそろっています。  
近隣市町での買い物もしやすいです。



## lifestyle 2

### 通勤が短いから、 ちょっとラク。

市街地がコンパクトなので、通勤時  
間は車で数分。  
朝晩の時間に少し余裕ができるの  
で、ゆっくりごはんを食べたり、趣  
味の時間を持ったり。1日のリズム  
が、自然と穏やかになります。



## lifestyle 3

### 自然は近い。 でも、不便じゃない。

湖や山、海が、すぐそばにあります。  
でも、生活が成り立たないほど  
不便、ということはありません。  
自然と暮らしが、無理なく隣り合っ  
ている。そのちょうどよさが、この  
町の魅力です。



## lifestyle 4

### 人が近すぎず、 遠すぎない町です。

小さな町だからこそ、顔の見えるつな  
がりがあります。  
困ったときに声をかけてもらえる  
ほどよい距離感が、暮らしの中で癒  
しや助けになることが多いです。



## lifestyle 5

### さまざまなイベントが 日常を彩ります。

洞爺湖ロングラン花火大会や洞爺湖  
マラソン、TOYAKO マンガ・アニメ  
フェスタなどのイベントがありま  
す。季節ごとに町がにぎわい、特  
別な雰囲気になります。  
見るだけでなく関わる人も多い、そ  
んな距離の近さも魅力です。



## lifestyle 6

### オンとオフを 切り替えやすい環境。

仕事終わりに温泉へ行ったり、  
湖を眺めながら帰ったり。  
ほんの少し立ち止まる時間がある  
だけで、気持ちは自然と整います。  
働くことも、暮らすことも。  
どちらも大切にできる環境です。



このような暮らしの中で働くからこそ、仕事にも自然と向き合えます。  
洞爺湖町役場の仕事は、町の生活のすぐそばにあります。

# 洞爺湖町役場で働く職員の、ホントの話。

思っているより遠くなくて、札幌から車で2時間くらいです。



子育て支援課 主事 工藤 和夫 さん

**Q 出身は札幌市ということですが、洞爺湖町で働くことに不安はありましたか？**

不安はなかったです。札幌まで車で2時間なので、必要なら帰れる距離感ですね。実際暮らすと不便はありますが、ちょっとした買い物なら町内で足りすし、室蘭など車で1時間の範囲内には必要な店があるので、そこまで困っていません。

**Q 現在の仕事はどんなことをしていますか？**

現在は子育て支援課で、保育所に関する事務や施設管理を担当しています。修繕や行事のお手伝いで保育所を訪れることもあり、子どもたちが顔を覚えてくれて「またきてね」と声をかけてくれます。そのひとことに、元気をもらっています。

**Q 洞爺湖町役場での働き方はどうですか？**

小さな自治体なので一人ひとりの役割は大きいですが、その分、仕事を任せられています。自分の意見を言うと、前向きなフィードバックをもらえるので挑戦しがいがあります。所属課以外にも話しやすい先輩が多く、雰囲気が良いです。

## 気づけば、洞爺湖町で働き続けたいと思っていました。

**Q 洞爺湖町で働こうと思ったきっかけは？**

祖母の家があって、子どもの頃からなんとなく身近な町でした。最初は地域おこし協力隊として関わっていたのですが、町民の方の温かさや、親身に相談に乗ってくれる職員の姿を見て、「ここで働けたらいいな」と自然に思うようになりました。

**Q 現在の仕事はどんなことをしていますか？**

今は産業振興課で、商工会や道の駅との連携、事業者支援に関わる業務などを担当しています。小さな町なので、いろいろな仕事に関われるのも特徴だと思います。

**Q 小さな町ならではの“人とのつながり”を感じるのは、どんなときですか？**

町民の方や事業者さんに関わる機会が多く、顔が見える関係があると感じます。人のつながりの近さを感じることもあります。でも、閉鎖的という感じはなくて、むしろ温かい人が多い町だと思います。知らない人に声をかけても、嫌な顔をされることはほとんどなく、むしろ明るくお話しすることが多いです。



産業振興課 主事 石丸 寧音 さん

## 休日は観光気分でお店巡りできるのが楽しいです。

**Q 洞爺湖町を志望したきっかけは？**

高校生のころから公務員を目指していて、どの町で働こうか考えたときに、家族旅行で訪れた洞爺湖町を思い出しました。出身地はもっと小さな町だったので、ある程度の利便性がありながら、自然が豊かな環境に安心感を覚えました。

**Q 現在の仕事はどんなことをしていますか？**

現在は広報紙「広報とうやこ」の制作に携わっていて、主に編集を担当しています。大きなイベントは先輩と一緒に撮影にも行きます。写真を撮ると「ありがとう」と言われることもあり、嬉しくなります。

**Q 実際に暮らしてみて感じることは？**

取材で出会う町民の方が本当に元気で、こちらが元気をもらうこともあります。外勤の途中で自然が見えると「綺麗だな」と感じたり、「こんなところがあったんだ」と毎回発見があります。休日は、行ったことのないお店を観光気分で見学するのが楽しいです。



企画財政課 主事 安藤 夕陽 さん

# 洞爺湖町で働くみらいを想像してみよう。

町で暮らす人のすぐそばで、一つひとつの仕事を丁寧に積み重ねる。

「安心」と「挑戦」がある、洞爺湖町役場で働きませんか。

## 洞爺湖町役場の働きやすさ

### 働き方の安心

#### 人の安心

洞爺湖町役場の仕事は、町民の暮らしのすぐそばにあります。窓口や現場でのやりとりを通して、自分の仕事が誰かの生活につながっていると実感できます。その距離の近さが、仕事のやりがいにつながっています。

一人ひとりの役割が大きく、若手でも業務を任せられます。同時に、困ったときは相談できる環境があります。挑戦と支え合いの両方がある。それが、この職場の特徴です。

#### 制度の安心

ライフステージの変化に応じた制度が整っています。育児休業の取得も、特別なことはありません。お互いの事情を尊重しながら、働ける環境があります。



## 若手のアイデアが、町の未来につながる。

洞爺湖町役場では、若手職員が中心となって、町の課題やこれからの行政のあり方を考える「TSTD (Talks on Sustainable Town Design)」という取り組みを行っています。

### 1 課題を考える

現場の声から課題を見つけます

THINK



職員同士で  
まちや役場の課題を整理

### 2 学ぶ

他自治体の事例などからヒントを得ます

LEARN



先進自治体の視察  
勉強会・意見交換

### 3 提案する

自分たちの言葉で町に提案します

PROPOSE



町長ヒアリングで  
政策提案を実施

### 4 実際の施策へ

提案が実際の業務改善につながります

ACTION



これまでに業務効率化の  
提案が採用されました

お問い合わせ



洞爺湖町総務部総務課職員係

〒049-5692 北海道虻田郡洞爺湖町栄町58番地  
TEL:0142-74-3000 FAX:0142-74-2121

もう少し知りたい方へ

洞爺湖町ホームページ  
[www.town.toyako.hokkaido.jp](http://www.town.toyako.hokkaido.jp)

